

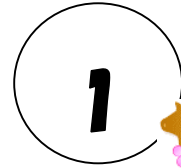


夢のかけ橋

高知県教育だより ～ 第2号 ～



平成21年（2009年）



年頭にあたって ～ リーダーシップが発揮される職場をつくる ～

組織を運営すると、自ずとリーダーが現われて来ます。組織人は、リーダーがより良いリーダーシップを発揮するよう環境整備に心がける人と、それとは反対の動きをする人に分かれることがあります。人間には欲があり負けたくないという競争心があるから、しばしば対立することもまた人の道理でしょう。

しかし、そのようなとらわれ方を避けて、積極的に調和と協力に向けて行動し、謙虚にお互いの違いを認め合い、生かし合って、「和を以て貴しと為す」を職場文化に育ててゆくことが出来ると素晴らしいと思いま

す。

もうひとつ「和して同ぜず」という和のとり方があります。人との調和と協力を大切にする上に立って、いたずらに調子を合わせたりせず、自分の考えをしっかり持ち、安易に妥協しない和のとり方です。これも素晴らしいです。逆に「同じて和せず」の職場とならないようにしたいものです。

これからは、教育現場の和が「よい習慣」を育て続けることを願っています。

高知県教育委員長 宮地 彌典

県教委の動き



◎任期満了に伴い教育委員が交替しました

平成20年12月25日で任期満了を迎えられました山崎章恵前委員及び中澤清一前委員に変わりまして、新たに平成20年12月26日から久松朋水（ひさまつともみ）委員と北添紀子（きたそえのりこ）委員が着任されました。

久松朋水委員は、トラクタや耕うん機用の耕うん爪の製造販売で、全国シェアの40%を占める株式会社太陽の代表取締役社長として、先進的な企業経営に取り組まれています。

北添紀子委員は、小学校と就学前の2人のお子さん

の保護者であるとともに、高知大学保健管理センター講師として、学生のカウンセリングを行うなど、精神医学の専門家としてご活躍されています。

これから4年間、教育委員活動の一環として市町村教育委員会や各学校などへの訪問や、いろいろな会合の場で意見交換する機会などもあろうかと思えます。よろしくをお願いします。

教育政策課 企画調整担当
(TEL)088-821-4731

◎「平成20年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果が公表されました

平成20年1月21日、文部科学省が今年度より初めて実施しました「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果が公表されました。

この調査は、子どもの長期的な体力低下に対応し、国が全国的な子どもの体力の状況を把握・分析するこ

とで、子どもの体力の向上に係る取組の成果と課題を明確にし、その改善を図ることを目的に実施したものです。

この調査結果から、体力向上にあたっては運動時間の確保が重要な要因として分析されています。「体育の

授業以外に1日1時間以上運動やスポーツをすることが必要」であること、また、朝食や睡眠などが運動時間の長さにも相関があることもこの調査から明確になりました。

今回の調査で高知県の児童・生徒の体力は、全国最低水準（小学校は男女とも47位、中学校は男子45位、女子46位）との結果となりました。県教育委員会としましても、この結果を真摯に受け止め、早急な対策の方向性を示していきたいと考えております。そ

◎高知県公立学校教員採用勉強会を開催しました

高知県公立学校教員採用勉強会は、教員を志望する人に、高知県の求める教師像や教育施策などの情報を提供し、高知県の教育への関心や理解を深め、やりがいを持って教員を目指してもらうことを目的として、県教育委員会が本年度から実施しているものです。

第1回勉強会は、昨年12月18日から20日にかけて県内3会場で開催し、計341名の参加がありました。

内容は、平成21年度採用候補者選考審査結果の分析と講評についてであり、参加者からは、①各教科等ごとの筆記審査の平均点、得点分布、設問ごとの正答率が示され自分の現状を考える資料となった、②求め

◎単元テスト（中学生の数学）の配信を行っています

昨年11月に、算数・数学学力定着事業のWEBページを開設し単元テストの配信を開始しました。

すでに全ての中学校で単元テストのダウンロードは完了し、現在、8割をこえる学校でこのシステムを積極的に活用していただいております。全ての学校で、一層、有効に活用していただきたいと思います。県教育委員会としましても、単元テストの活用に関する情報を積極的に発信していきます。

学校から情報提供いただいた効果的な活用事例を紹介します。

【事例1】

単元テストの実施後、学習内容の定着が不十分な生徒に、家庭学習としてフォローアップ問題を配布し、学習内容の定着を図ろうとしている学校があります。また、放課後のサポート学習（数学）で、フォローアップ問題や既の実施した単元テストの問題を活用している学校もあります。

のための第一歩としては、今回の調査結果を県・各市町村・各学校とそれぞれの立場から分析し、課題の共有化を図ることが大切だと考えています。その上で、未来の高知県を担う子どもたちの健やかな身体を育てるために、課題解決に向けた学校・家庭・地域が一体となった取り組みを推進してまいります。

スポーツ健康教育課 学校体育担当

(TEL)088-821-4929



る教師像、高知県の現状などが再確認でき、とても勉強になった、③面接、集団討論の評価の仕方について、細かく知ることができた、などのコメントをいただきました。

県教育委員会は、この勉強会が子どもたちに質の高い教育を行うための教員の資質・指導力の向上に繋がることを期待しており、参加者も、そのような意識を持っていることを確認することができ、大変心強く思いました。今回の勉強会資料は、教育政策課のホームページに載せる予定です。

教育政策課 人事企画第一担当

(TEL)088-821-4568



このような取組により、今までなかなか学習内容が定着しなかった生徒も、チェックテスト（学校独自で実施）を全て自力で解決することができ、次の学習への意欲につながっています。

【事例2】

単元テストの結果を、授業の進め方と関連させて分析することで、授業改善に生かそうとしている学校もあります。

単元テストの結果によると、事前に指導案をよく練って工夫した授業では、全ての生徒に学習内容が定着していましたが、そのような準備をしていない授業では定着の状況に二極化が見られるなどの違いがありました。どのような授業を行ったのかを単元テストの結果から分析することにより、授業改善への意識も、より高まっています。

小中学校課 学校教育第二担当

(TEL)088-821-4908

トピックス

◎平成20年12月県議会の報告 ～本会議での質問から（抜粋）～

市町村教育委員会の体制強化と連携について

〈議員〉

市町村教育委員会の体制強化と連携に向け、どのような取り組みをしてきたのか。また、どこの地域が課題なのか。さらに今後どのような取り組みをしていくのか、併せて聞く。

〈教育長〉

本県教育の向上には、県教育委員会と市町村教育委員会が緊密な連携のもとに、それぞれが主体的に、責任感を持って取り組んでいくことが重要であると考えています。

一方、県内の市町村教育委員会の体制を見ても、事務局職員数が10名前後の町村も多く、学校教育の専門性の確保や、新たな教育施策の充実といった点などで、県教委に対する支援の要請も数多くいただいている状況があります。

このため、市町村教育委員会相互の連携強化や、一体的な取り組みを通して機能を強化するとともに、県教育委員会との意思疎通を図るよう、平成18年度から、県内5ブロックの市町村教育委員会連合会に指導主事を派遣しているところです。

また、本年度から東部教育事務所に、広域での取り組みを推進する担当職員を配置し、市町村教育委員会の実態に基づいた、教育施策の充実についても市町村の枠を越えた協議を重ねております。さらに、県内の児童生徒数の40%以上を占め、学力などに大きな課題がある高知市に対しても、県市連携による学力向上に向けた学習習慣確立プログラムの実施など、重点的に取り組むこととしています。

今後も、市町村教育委員会との情報交換を積極的に行い、市町村が行います施策への重点的支援や、日常的な連携を行える体制を充実するなど、各地域の現状やニーズに合った施策を推進してまいります。

副校長、主幹教諭、指導教諭の設置

〈議員〉

来年度以降、副校長、主幹教諭などをモデル校で試行的に設置する方針を明らかにしているが、具体的な学校名を示せ。また、副校長、主幹教諭、指導教諭をどのように何人登用するのか。その登用基準や登用方法についても併せて聞く。

〈教育長〉

新たな職の導入につきましては、本県の教育課題に対して学校が組織として対応するために、校長及び教頭のリーダーシップや組織マネジメントをより円滑に機能させる観点から、管理職と教職員の間の意思疎通を図ったり、従来の主任の分掌にとらわれない横断的な役割を担うことのできる職として設置を考えています。

平成21年度のモデル校につきましては、2月頃に決定する予定ですが、教育課題を解決するためにPDCAサイクルを確立し、OJTが推進される学校を、小・中学校及び県立学校で15校程度を指定したいと考えています。

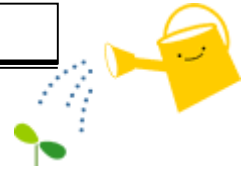
新しい職の登用者数につきましては、指定したモデル校の数に応じて、小・中学校では、主幹教諭と指導教諭を、県立学校では副校長と主幹教諭を、併せて20名程度登用する予定です。

登用基準につきましては、副校長は、教頭職などから、主幹教諭及び指導教諭は、学校で中堅教員として活躍する力を持っている30歳代後半以降の者を想定しています。

登用方法につきましては、副校長は、校長登用審査と同じ内容で、主幹教諭及び指導教諭は、教頭登用審査に準じた内容で審査することを検討しています。

なお、平成21年度につきましては、既に管理職登用審査を実施していることから、特別に、管理職登用審査受審者の中から該当者に新しい職への登用を確認したうえで登用する場合、管理職登用審査を受審されていない方の中からは、所属長等の推薦による選考審査を行いたいと考えています。

お知らせ



◎岡豊高等学校が文部科学大臣表彰を受賞しました！

キャリア教育の推進に取り組んでいる岡豊高等学校は、文部科学省の「高等学校におけるキャリア教育の在り方に関する調査研究」校の指定を受けていますが、この度、その先進的な取組が評価され、「キャリア教育優良校」として平成20年11月22日、文部科学省3階講堂において表彰を受けました。

岡豊高等学校は、教育活動のすべてをキャリア教育の視点から見直し、学校の活性化を図るとともに、生徒一人一人が、自己の在り方や生き方をみつめ、社会

の中で自立できる、「生きる力を持った岡豊人の育成」を目標としています。

新しい高等学校学習指導要領では、学校の教育活動全体を通じキャリア教育を推進することが示される予定です。これを契機に、キャリア教育が県内の学校に一層広まり、子どもたちが積極的にそれぞれの可能性を広げることに挑戦してほしいと考えます。

高等学校課 定通・産業教育担当
(TEL)088-821-4846

◎行事予定（1月、2月の主なもの）〈注〉現時点での予定です。日程の都合により変更される場合があります。

平成21年1月

- 29日～30日 県立高等学校前期選抜面接等（各県立高等学校）
- 30日 人権教育推進委員会（高知市 県庁西庁舎教育委員室 9時～）
- 31日 第40回四国地区体育指導委員研修会（高知市 文化プラザかるぽーと 13時～）
高知県小中学校PTA連合会 県教委との教育研修会（高知市 教育センター分館 15時～）

平成21年2月

- 2日～5日 県立中学校出願期間
- 4日 県立高等学校前期選抜合格者発表
- 6日 教育版「対話と実行」（部活担当者との意見交換）（高知市 高知市総合体育館 15時15分～）
- 9日 県立高等学校前期選抜入学確約書提出締切
- 10日 高知県安全安心まちづくり推進会議定期総会（高知市 県庁正庁ホール 14時～）
- 10日～13日 県立高等学校後期選抜出願期間
- 15日 総合型地域スポーツクラブ育成推進フォーラム（高知市 高新RKCホール 13時30分～）
- 17日 定例教育委員会（高知市 県庁西庁舎教育委員室 13時30分～）
- 17日～19日 県立高等学校後期選抜志願先変更期間
- 20日～26日 県立高等学校後期選抜調査書等の提出期間
- 21日 県立中学校 作文、適性検査及び面接実施
- 23日 高知県議会2月定例会（開会）（高知市 高知県議会議事堂 10時～）
平成20年度児童生徒表彰 表彰式（高知市 県民文化ホール（グリーン） 13時～）

編集後記

あけましておめでとうございます。
「夢のかけ橋」第2号をお届けします。今年も新鮮な話題を提供できますよう努めてまいります。今後ともよろしくお願ひします。
本広報紙への感想や、ご要望がございましたら、発行者までお寄せください。
教育委員会ホームページ：<http://www.kochinet.ed.jp/>

＜発行者＞

高知県教育委員会事務局
教育政策課
(TEL)088-821-4731
(FAX)088-821-4558
(E-mail)310101@ken.pref.kochi.lg.jp